

マウス由来ピルビン酸キナーゼ**M2**活性、組換え品

Cat. No. NATE-0939

Lot. No. (See product label)

はじめに

『明 ピルビン酸キナーゼM2(PKM2)は、特定の分化した細胞および□殖活性のある細胞で発現す

るピルビン酸キナーゼのアイソフォームです。PKM2は、がん細胞でしばしば過剰発現してい

ます。

別名 M2-PK腫瘍; OPA相互作用タンパク質3 (OIP-3); ピルビン酸キナーゼ3 (PK3); ピルビン酸キ

ナーゼ;筋肉;甲状腺ホルモン結合タンパク質1 (THBP1);ピルビン酸キナーゼ;ホスホエノールピルビン酸キナーゼ;ホスホエノールトランスホスホリラーゼ;ピルビン酸キナーゼ (リン酸化);フルオロキナーゼ;フルオロキナーゼ (リン酸化);ピルビン酸キナーゼ;ピルビン酸ホスホ

トランスフェラーゼ; ATP:ピルビン酸2-O-ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種 マウス

由来 大腸菌

形態 水溶液、25 mM Tris-HCl、pH 8.0、100 mM NaCl、0.05% Tween-20、30% グリセロー

ルおよび 3 mM DTT で調製。

CAS登□番号 9001-59-6

分子量 58 kDa

純度 90%以上 (SDS-PAGE)

単位定義 1ユニットは、 37° Cで1 pmol σ ADP/minにリン酸エステル基をホスホエノールピルビン酸

(PEP) から転送するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -70° Cで保管してください。複数回の凍結-解凍サイクルを避けてください。